



宍道湖の夕日

裂いて

紡いで

描く



さき織は、役目を終えた布を細く裂き、もう一度いのちを吹き込む手仕事です。手間を惜しまず向き合うことで、同じものが二つとない温もりが生まれます。布の幅や色の重なりが独特の表情をつくり、バッグや敷物、風景を描く作品まで多彩に広がります。ものを大切に作る心から生まれた、さき織の世界をお楽しみください。

須田芳子 / 矢野協子
中尾悦子 / 保科幸子

出西さき織クラブ作品展

さき織の表現世界

2026年4月18日(土)→5月17日(日)

同時開催

歌川広重 [復刻木版画]

「東海道五十三次」

～出版が広げた旅の風景～

